

**平成24年度
事業報告書**

西和賀町社会福祉協議会

平成 24 年度 社会福祉法人西和賀町社会福祉協議会事業報告

1 法人運営事業

《理事会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/ 定数)	内 容
理 事 会	平成 24 年 5 月 17 日	悠々館 (11/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1 社協事業経過報告について 2 平成 23 年度西和賀町社協事業報告・収支決算について 3 西和賀町社協各種介護保険事業運営規程の一部改正について 4 社協役員改選について
	平成 24 年 5 月 24 日	悠々館 (11/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1 西和賀町社会福祉協議会正副会長の互選について
	平成 24 年 9 月 21 日	悠々館 (8/12) 柳 沢監事	1 社協事業・介護保険事業経過報告について 2 安心生活創造事業の取組みについて 3 高齢者演劇事業について 4 西和賀町社協ホームヘルプにしわが運営規程の一部改正について 5 西和賀町社協デイサービスにしわが運営規程の一部改正について 6 西和賀町社協ケアプランにしわが運営規程の一部改正について 7 平成 24 年度介護保険施設等の実地指導の実施結果について 8 平成 24 年度共同募金運動について 9 平成 24 年度社協役職員研修会の開催について 10 平成 24 年度西和賀町社会福祉大会の開催について
	平成 24 年 12 月 12 日	太田福祉センター (9/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1 社協事業・介護保険事業報告について 2 第 2 次安心生活創造事業にかかる受委託契約の会長専決について 3 平成 24 年度西和賀町社協会計第 1 次補正予算について 4 西和賀町社協欠員理事の推薦について 5 平成 24 年度歳末助け合い配分計画について
	平成 25 年 3 月 12 日	(11/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1 社協事業・介護保険事業報告について 2 平成 24 年度介護保険事業実績（見込み）について 3 平成 25 年度社協組織体制について 4 平成 24 年度社協会計第 2 次予算補正について 5 平成 25 年度社協会費額の決定について 6 平成 25 年度社協事業計画、予算について

《評議員会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/定数)	内 容
評 議 員 会	平成 24 年 5 月 22 日	悠々館 (25/30)	1 平成 23 年度西和賀町社会福祉協議会事業報告、決算について 2 平成 23 年度共同募金事業・収支決算の報告について 3 西和賀町社会福祉協議会役員の選任について
	平成 24 年 12 月 16 日	悠々館 (25/30)	1 平成 24 年度社協会計第 1 次予算補正について 2 西和賀町社協欠員理事の選任について 3 平成 24 年度西和賀町社会福祉大会の開催について
	平成 25 年 3 月 15 日	太田老人福祉 センター (22/30)	1 平成 24 年度社協会計第 2 次予算補正について 2 平成 25 年度社協会費額の決定について 3 平成 25 年度社協事業計画、予算（案）の承認について

《監事会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/定数)	内 容
監 事 会	平成 24 年 5 月 16 日	社協本部 (2/2)	1 平成 23 年度社協事業報告・決算監査
	平成 24 年 7 月 20 日	社協本部 (2/2)	1 出納調査（第 1 四半期）
	平成 24 年 10 月 16 日	社協本部 (2/2)	1 中間監査
	平成 25 年 1 月 24 日	社協本部 (2/2)	1 出納調査(第 3 四半期)

《生活福祉資金貸付調査委員会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/定数)	内 容
生 福 資 金 貸 付 調 査 会	平成 24 年 11 月 19 日	社協本部 (5/6)	1 生活福祉資金貸付案件（H24 年度上期）について 2 延滞利子支払免除申請について 3 平成 23 年度生活福祉資金利用状況について 4 生活福祉資金償還指導結果について 5 まごころ銀行の利用状況について 6 その他
	平成 25 年 3 月 26 日	社協本部 (6/6)	1 生活福祉資金貸付案件（H24 年度下期）について 2 平成 24 年度生活福祉資金利用状況について 3 生活福祉資金償還指導結果について 4 まごころ銀行の利用状況について 5 その他

[役職員研修会]

	開催年月日	場 所(参加者数)	内 容
	平成 24 年 5 月 27 日	盛岡市 ふれあ いランド 役職員 1 名	市町村部会総会 ふれあいランド岩手
	平成 24 年 5 月 29 日	北上市 ホテル シティプラザ 役職員 8 名	広域社協総会 地域福祉推進のための意見交換会
役 職 員 研 修 会 の 開 催	平成 24 年 7 月 13 日	さくらホール 役員・職員 1 名	第 34 回県精神障がい者保健福祉大会
	平成 24 年 9 月 25 日	ホテルニューカ リーナ 役職員 1 名	県社協主催の会長等懇談会「社協が担う地域福祉について」
	平成 24 年 10 月 29 日 ～30 日	福祉県南相馬市 福島市にて宿泊 役員・職員 15 名	町社協役職員研修会 テーマ“原発被災地を視る” ～ 原発被災地の現状を把握しこれからの支援を考える。～
	平成 24 年 11 月 8 日	岩手県民会館 役職員 10 名	第 64 回岩手県社会福祉大会
	平成 24 年 11 月 16 日	ホテルニューカ リーナ 役職員 1 名	岩手県地域福祉推進セミナー
	平成 24 年 12 月 20 日	エスポワール岩 手 監事 2 名	平成 24 年度社協監事・会計業務担当研修会
	平成 25 年 1 月 18 日	銀河ホール 役職員	平成 24 年度 西和賀町社会福祉大会 基調講演 「地域で備える防災計画」 ～災害時の要援護者支援のあり方を考える～ 洋野町社協事務局長 青澤 学氏
	平成 25 年 1 月 29 日 ～30 日	花巻温泉 ホテル千秋閣 役職員 2 名	平成 24 年度 市町村社協役職員セミナー
	平成 25 年 2 月 19 日	北上市福祉セン ター 役職員 16 名	平成 24 年度 広域社協役職員研修会 テーマ 民間企業の社会貢献を知る 講師 ヤマト運輸岩手主管支店 企画課長 松本まゆみ氏
	平成 25 年 3 月 9 日	北上市福祉セン ター 役職員 10 人	北上和賀ボラの集い ストレスとセルフケアについて 講師 CO・COROサポート 藤村七美氏

2 介護保険サービス事業

事業名	事業内容	事業実績
介護保険訪問介護	介護保険認定者への派遣サービス 身体介護 家事援助	延べ利用者数 3,497人（月平均291.5人） H23年度 2,993人（月平均249.4人）
介護保険通所介護	介護保険認定者対象の通所介護	延べ利用者数 9,272人（月平均772.7人） H23年度 9,238人（月平均769.8人）
訪問入浴介護	移動入浴車による訪問入浴介護	延べ利用者数 308人（月平均25.7人） H23年度 681人（月平均57人）
居宅介護支援事業	介護保険サービス利用にかかるケアプラン作成	延べ利用者数 1,575人（月平均131.3人） H23年度 1,443人（月平均120.3人）

3 在宅福祉サービス事業

事業名	事業内容	事業実績
生活支援ホームヘルプサービス事業 （障害者自立支援制度）	知的障害・精神障害の方々を対象に、身体上又は精神上の障害のため日常生活を営むのに支障がある障害者の家庭を訪問し、日常生活の援助を行う	年間利用人員 6人 （知的3人、精神2人 身体1人）
介護用品の普及斡旋	寝たきりの高齢者、認知性老人・身体障害者の方々への介護用品紹介、新製品の普及、介護ベッド、歩行器、おむつカバー、杖などを斡旋した。	社協で斡旋した介護用品 紙おむつ、尿とりパット・エアマット・杖・歩行器具ほか
生活支援ハウス	居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、在宅一人暮らし高齢者等安心して明るい生活を送れるよう支援した。	生活支援ハウスの運営 利用実人数 16名 利用居室数 15部屋 概ね11月～4月まで
まごころ宅急便事業	交通手段をもちず買物等で不便を感じているの方々を対象に、必要に応じて電話にて社協へ注文し、スーパーオセンからヤマト運輸が個別宅に配達する買物支援の仕組み	平成24年度 登録利用者数 24名
いわてお元気見守りシステム	登録いただいている独居高齢者等が毎日、自宅から自発的に電話することにより、折り返しかかってくる音声案内に回答する見守りシステム	平成24年度 登録利用者数 16名
新たな見守りシステム 絆-ONE 実証試験	国のモデル事業として採択を得て実施中 押しボタン方式と人感センサーで、日常的な見守りや日常生活支援を推進する。	平成24年度 設置利用者数 29名

4 住民参加の地域福祉活動

事業名	事業内容	事業実績
平成 24 年度西和賀町社会福祉大会	地域の各種福祉サービスなど公私の社会資源を確認するとともにその実態や活用方法を見つめ直しながら、住み慣れたこの町での継続した生活を実現するための方策を探る。	平成 25 年 1 月 18 日（金）『銀河ホール』式典 実践発表 テーマ：「地域で備える防災計画」～災害時の要援護者支援のあり方を考える～ 洋野町社協事務局長 青澤 学氏
第 7 回西和賀福祉まつり	町内福祉活動の紹介並びに障害者も含め、誰でも企画・参加できる事業農業まつりとの共催として開催した。	平成 24 年 10 月 20 日（土） 沢内大野農業センターにて 展示・工作、模擬店、展示即売 フリーマーケット、ステージ の部門を開催
歳末チャリティショーの開催協力	歳末たすけあい運動の一環として、町民総参加のイベント。 12 月 2 日（日）銀河ホールで開催。	チャリティ収益金総額 351,000 円 歳末たすけあい募金へ 250,000 円
共同募金運動の展開	民間社会福祉施設、事業への配分を行う、赤い羽根共同募金運動を全国運動に呼応して行った。	10 月 1 日～12 月 31 日
地域に関する情報提供・連絡調整・調査	在宅福祉に関する情報やニーズ調査、名簿等を整備し民生委員、警察、消防等情報共有。4/1 と 10/1 で調査。福祉的な相談に対して公的機関との連絡・調整を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者名簿 ・高齢者夫婦世帯名簿 ・日中一人暮らし高齢者 ・除雪必要世帯調査 ・認知症等見守りの必要な方々の実態把握 ・自立歩行困難者名簿 ・災害時等要援護者支援名簿整備

5 高齢者福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
健康づくり事業への開催・支援	老人クラブを中心に健康づくりのためのスポーツ大会等の開催・支援	町シルバースポーツ大会 6月29日 北上地区シルバースポーツ大会 7月18日 岩手県シルバースポーツ大会 9月15日
花いっぱい推進事業	花咲じーばーず西和賀	高齢者パワーアップ支援事業として、花苗を6,000本栽培し、販売するとともに町内の保育園・小中学校・高校に寄贈した。
ひとり暮らし高齢者世帯・寝たきり高齢者等への電気器具・照明器具の点検・清掃	東北電力の協力を得て、電気、照明器具の点検・清掃を行なった。	電気、照明器具の点検・清掃：東北電力 10月5日 15世帯（湯田圏域対象）
高齢者演劇事業	演劇活動を通して、高齢者の積極的な社会参加、生涯学習の推進を図った。さらには、自己表現する喜びを体感し、合わせて多くの人々に感動と、可能性そして喜びを与えた。	事業 劇団「シニア劇団平和座」 演目「さよならニッポンごきげんよう」 公演日 9月1日西和賀町（銀河ホール：地域演劇祭） 11月20日大槌町 城山体育館 11月22日西和賀町（銀河ホール：高齢者大学閉講式） 11月26日北上市、さくらホール 11月29日洋野町 セシリアホール 打上会
各種実習の受入れ	訪問介護員養成研修2級課程	7月下旬～10月中旬迄 西和賀高等学校・北上福祉教育専門学校等から受入れ、実習支援を行なう。

6 障害者福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
視力障害者のための声の広報活動	目の見えない方やねたきりの方に町や社協等が発行する広報紙をカセットテープに録音し、郵送しているボランティア活動。	ボランティア「こだま」による「広報にしわが」の録音 月1回 録音ボラ11人（西和賀高校も協力） サービス利用者 6人 延べ72人
知的障害者支援事業	北上和賀広域地区で開催され知的障害者の運動会、地域推進事業、育成会事業などへの支援。	8月18日 北上・和賀地区ふれあい運動会 （藤根 多目的グラウンド）
福祉団体の育成・支援 （障害者の社会参加促進推進）	老人クラブ連合会事務局 身体障害者協会事務局 母子・寡婦福祉協会事務局	各団体事務局として、団体の事業運営等に支援した。

7 福祉教育・児童福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
西和賀町学童クラブの開設	町からの委託を受けて、西和賀町学童クラブ（湯田圏域：ドラエモンポケット 沢内圏域：沢内学童クラブ）を行なった。	開設日数 242 日 湯田圏域登録利用者数 13 人 沢内圏域登録利用者数 39 人 （長期休業利用含む） 湯田圏域延べ利用者数 1,440 人 沢内圏域延べ利用者数 4,011 人 沢内小学校・湯田小学校隣接地で開所 学童クラブ保護者会（湯田 3 回、沢内 2 回）
作文集の発行	小中高の児童生徒が、家族や地域での活動を作文し、ふれあいある豊かな地域づくりをねらいとして作文コンクールを開催し、文集を発行した。	作文集「ふれあい」を発行し、各学校・関係機関に配布した。 小学校低学年・中学年・高学年、中学校、高等学校の 4 部門において最優秀 1 点、優秀 2 点の顕彰を行った。
ボランティア学習の実施	町内の小学校でキャップハンディ体験、認知症サポート体験等の学習会を実施した。	7 月 2 日 湯田小学校 4 年生 18 人 1 月 25 日 沢内小学校 4 年生 23 人
世代間交流	高齢者が長年培ってきた技術、生活の知恵を中学生に伝承し、先人の生き方を学び、郷土理解を深めることができた。	7 月 3 日 沢内中学校 中学 1 年生 24 名 蔓細工を学んだ。町老連から 14 名参加
子育てサロンの実施	未就園児童と母親が一同に会して、育児の悩みの共有や仲間づくりを図った。	開催回数 12 回（4 月～3 月） 開催場所 太田さわやか会館・悠々館ほか 参加者 延 75 人 （協力スタッフ：民協・母子協他＝34 人）

8 ボランティア活動の推進

事業名	事業内容	事業実績
ボランティアグループの育成・支援	ボランティアグループの育成支援と活動環境整備の実施。	ボランティア団体数 20 グループ ボランティア登録者数 2,341 名
ボランティアセンター事業	ボランティアに関わる相談・登録・斡旋と共に、情報提供と活動支援を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・スノーバスターズ新規会員募集及び町外助っ人ボランティア等への呼びかけ ・見守りボランティアの登録、活動斡旋。福祉施設への斡旋などを実施する。 ・ボランティア保険の斡旋、手続代行 ・100km マラソンボラ協力への調整
スノーバスターズ活動への支援	一人暮らしや身体障害者世帯など雪に困っている世帯を訪問し、雪かきや声かけ活動をするボランティア団体を支援する（事務局）	<p>町内を 21 班に分けて活動</p> <p>平成 24 年度会員数 349 人（一般 173・中学生 80・高校生 96）</p> <p>平成 24 年度対象世帯 128 世帯</p> <p>出動式 1 月 13 日（日） 沢内トレセン</p> <p>町外から活動支援を受け入れ、利用者、各団体と連携のもとに活動日を設定し実施した。</p> <p>町外から助っ人ボラ 12 団体 176 人来町</p> <p>岩手県建設業協会北上支部から 10 万円寄付 統一活動</p> <p>1 月 13 日（日） 2 月 3 日（日） 3 月 3 日（日）</p>
ハウスヘルパー活動への支援	一人暮らしや身体障害者世帯など冬期間における住宅損壊の修復、冬期間に向けての住宅補修を行った。	<p>平成 24 年度会員数 22 名</p> <p>平成 24 年度実施状況</p> <p>5 月 7 日～5 月 31 日 統一活動 35 件</p> <p>11 月 7 日～11 月 24 日 統一活動 52 件</p> <p>10 月 20 日福祉まつり＝刃物研ぎ/12,350 円</p>
ボランティアへの参加を啓発する活動	広報紙やチラシ及びインターネットのホームページなどで広く呼び掛けた。（雪かき助っ人ボラ）	<p>広報紙「福祉だより」</p> <p>スノーバスターズ会員募集チラシ</p> <p>マスコミ等のホームページを活用・発信</p>

9 共に支えあう町づくり(ネットワーク活動)の推進

事業名	事業内容	事業実績
ひとり暮らし高齢者等の有料除雪支援組織への協力	町で実施している有料除雪制度(除雪業者斡旋)の紹介などを行う。	雪かきボランティア「スノーバスターズ」活動だけでは対応できない場合など制度の紹介をしている。 除雪 110 番・福祉除雪
ひとり暮らし高齢者の情報把握、連絡先などのリスト整備	ひとり暮らしの高齢者の方々が病気になったり死亡した場合に緊急に身内(子供など)に連絡できるように連絡先などのリストを整備し情報提供する。	連絡先リストの整備など民生委員と連携して進めた。高齢者等要援護者のリストを整備し、地図情報におとした。
ひとり暮らし高齢者の生きがい交流会支援	ひとり暮らし高齢者交流会を開催した。	「ひとり暮らし交流会」 合計 169 人参加 第 1 回 7 月 4 日 あやめ公園 37 人 第 2 回 10 月 3 日 ふるさと村 62 人 第 3 回 12 月 27 日 沢内バーデン 43 人 第 4 回 3 月 22 日 悠々館 63 人

10 在宅介護者(障害者)支援事業の実施

事業名	事業内容	事業実績
地域包括支援センター支所(ブランチ)	在宅の高齢者にかかわる相談、介護用品の紹介、介護予防事業を実施	平成 24 年度支所での相談件数 159 件 包括ケア会議(8 回開催:毎月第 3 火曜日)
寝たきり老人・認知症高齢者等の「介護者リフレッシュ」の実施	在宅の要介護者の介護に日夜携わっている方々の悩みを聞き、交流や楽しみの機会をつくりながら心身のリフレッシュをしてもらう。	在宅介護者の集い 「楽しくリフレッシュ」 1 月 31 日「沢内バーデン」23 人
日常生活支援事業(権利擁護事業)	在宅の高齢者や障害者の申請事務代行及び金銭管理について、援助し権利侵害がなされないよう支援する。	知的障害者(8 名)・高齢者(2 人)と契約を締結し、金銭管理及び日常的な生活支援を生活支援員と協力して行なった。 生活支援員:4 名配置

1 1 低所得者福祉に関する事業

事業名	事業内容	事業実績
まごころ銀行の設置運営	当面の生活費、医療費など一時的な出費に対し5万円以内(特別な場合20万円以内)で貸す制度 貸付限度額 5万円(20万円)以内 償還期限1年以内 貸付利子無利子 保証人 必要なし ただし5万円を超える場合は連帯保証人1名必要	PRチラシ発行 24年度 貸付17件 830,000円の貸付 24年度 償還76件 1,200,000円の償還 未償還金総額 17件 598,000円 内 悠々館扱い 8件 315,000円 本部扱い 9件 283,000円
生活福祉資金の有効活用による更生指導、自立援助	低所得世帯等に資金を貸し、経済援助と民生委員による生活指導を行う。(県社協からの委託事業)	H24年度 貸付2件 5,560,000円 内 修学 2件 5,560,000円
西和賀町歳末たすけあい募金の適正配分	歳末たすけあい募金「明るい正月を迎えよう」として共募が集金し、社協が対象者に配分している。	募金総額 1,418,993円 生活困窮世帯配分 37世帯 444,000円 母子・父子世帯配分 28世帯 140,000円 在宅介護障害者配分 97世帯 485,000円 在宅福祉事業配分 3事業 150,000円 被災世帯配分 1世帯 10,000円 事務費・配分経費 189,993円
低所得世帯の生活相談・援助	西和賀町まごころ銀行と生活福祉資金利用者に対し、相談・援助を行う。	低所得世帯への指導・援助は民生委員を中心に必要の都度行った。

1 2 福祉関係団体との連携

事業名	事業内容	事業実績
町民生児童委員協議会との活動連携協力	ネットワーク活動の推進、要援護者への支援、各種調査、行事への参加の取りまとめなど、地域の民生委員との連携協力が不可欠であり、多大な支援、協力を得ている。	定例民協への参加：毎月1回 生活福祉資金、まごころ銀行の貸し付け、償還指導など協力を得ている。ネットワーク活動への参加。
北上・和賀地区広域社協との活動連携	広域社協としての事業が増えており、連携して取り組んだ。	東日本大震災被災地の大槌町社協への支援を年間を通じて行った。「まごころ宅急便など」
福祉行政及び各種委員会との連携、協力	社協運営と行政(福祉・教育)とが連携を密にした。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健会委員 ・行政改革審議会委員 ・町基本計画審議会委員 ・西和賀高校教育振興会 ・町営住宅入居選考委員会 ・包括支援センター運営協議会委員 ・地域演劇祭実行委員 ・西和賀町保健調査会委員
町内外各団体等との連携	町内外にある社会福祉法人等との連携を密にした。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人光寿会評議員 ・社会福祉法人潤沢会理事・評議員 ・包括支援センター地域ケア会議委員

1 3 広報など福祉意識の啓発、普及活動

事業名	事業内容	事業実績
福祉だより編集発行	福祉だより（社協広報紙）を発行全戸配布し社協事業や制度のPRを行っている。	年6回発行
在宅福祉情報誌「わっこ」	社会福祉協議会の事業の紹介、事業協力などチラシで配布した。	年3回発行
ボランティア情報誌	町内のボランティアの情報や登録・斡旋について情報提供した。	年3回発行
各種チラシの発行	スノーバスターズたより等々の発行及び社協ホームページの開設により社協の多様な情報を発信した。	適宜

1 4 心配ごと相談所事業

事業名	事業内容	事業実績
心配ごと相談所（常設・定例相談所の開設）	心配ごと相談所の定例相談日の開設（毎週木曜日）と常設相談社協の広報や町の広報、お知らせ版でお知らせした。	定例相談日として広報している。（社協事務局対応）
専門相談の実施	定期的に専門相談を開催	法律相談 弁護士相談 2ヶ月に1回2ヶ所で開設 人権・行政相談 人権相談週間・行政相談週間にあわせ専門相談員を配置した。 （人権擁護員・行政相談員）